

# 野洲市堤の 昭和28年台風13号による水害体験

## ■避難所

- ・大水になると、法専寺、正覚寺に避難をしていた。
- ・避難の合図は、お寺の早鐘だった。

## ■堤の被害

- ・被害が大きかった地域
- ・床下浸水

## ■S28年避難所

- ・子ども、お年寄りも、バスで村の小学校に避難した。

## ■狩上神社

- ・一番危険な場所

## ■対岸

- ・対岸（左岸）の堤防の方が強かった。石垣でびしっとしていた。
- ・大水の時、やぶに当たる水の大きな音が聞こえていた。

## ■蛇かごと杭

- ・水の流れを変えるために、川の中に杭を二列、打った。
- ・蛇かごも設置した。

## ■樋

- ・二番目に危険な場所

## ■決壊場所

- ・堤防にひびが入っていた。
- ・すぐ下に、墓地があった。墓地が流された。
- ・殉職者の碑がある。

## ■高川原

- ・堤防と流れる水の間を高川原と呼ぶ。
- ・木、竹やぶ、畑などに利用
- ・年に一度は、高川原に水がのるくらいの大水があった。

## ■決壊した時の様子

- ・決壊は夜中。月夜がきれいだった。
- ・決壊して流れる水は、白く、かまぼこのような形だった。

水の流れ